

道路交通騒音の予測結果

(準備書426ページ)

表7.2.1-12 道路交通騒音の予測結果 (L_{Aeq}) (資材等の搬入及び搬出)

単位:デシベル

予測地点		項目	現況騒音レベル ①	増加分 ③	将来騒音レベル ②	環境基準
地点 a 久地野ポンプ場	平日		68 (68.2)	0.2	68 (68.4)	70以下
	土曜		68 (67.6)	0.2	68 (67.8)	
地点 b 鴨田川排水機場	平日		70 (69.9)	0.1	70 (70.0)	
	土曜		69 (69.2)	0.2	69 (69.4)	
地点 c 憩の家ふたば荘	平日		68 (68.3)	0.1	68 (68.4)	
	土曜		67 (67.3)	0.1	67 (67.4)	

注) 騒音の環境基準との比較は整数で行うが、本事業による増加分が分かるよう () 内に、小数点以下第一位まで表示した。

(準備書453ページ)

表7.2.1-24 道路交通騒音予測結果 (L_{Aeq}) (廃棄物等の搬入及び搬出)

単位:デシベル

予測地点		項目	現況騒音レベル ①	増加分 ③	将来騒音レベル ②	環境基準
地点 a 久地野ポンプ場	平日		68 (68.2)	0.5	69 (68.7)	70以下
	土曜		68 (67.6)	0.6	68 (68.2)	
地点 b 鴨田川排水機場	平日		70 (69.9)	0.4	70 (70.3)	
	土曜		69 (69.2)	0.5	70 (69.7)	
地点 c 憩の家ふたば荘	平日		68 (68.3)	0.4	69 (68.7)	
	土曜		67 (67.3)	0.4	68 (67.7)	

注) 騒音の環境基準との比較は整数で行うが、本事業による増加分が分かるよう () 内に、小数点以下第一位まで表示した。

道路交通振動の予測結果

(準備書482ページ)

表7.3-12 道路交通振動の予測結果 (L₁₀) (資材等の搬入及び搬出)

単位:デシベル

予測地点(道路名)	項目	現況振動レベル	増加分	将来振動レベル	要請限度
		①	③	②	
地点 a 久地野ポンプ場	平日	50 (49.7)	0.3	50 (50.0)	65
	土曜	48 (47.7)	0.4	48 (48.1)	
地点 b 鴨田川排水機場	平日	50 (50.0)	0.2	50 (50.2)	70
	土曜	48 (47.5)	0.2	48 (47.7)	
地点 c 憩の家ふたば荘	平日	45 (45.0)	0.2	45 (45.2)	
	土曜	44 (43.6)	0.3	44 (43.9)	

注1) 影響が最大となる時間の値である。

地点 a : 平日15時台、土曜10時台

地点 b : 平日14時台、土曜10時台

地点 c : 平日9時台、土曜9時台

注2) 要請限度との比較は整数で行うが、本事業による増加分が分かるよう () 内に、小数点以下第一位まで表示した。

(準備書504ページ)

表7.3-24 道路交通振動の予測結果 (L₁₀) (廃棄物等の搬入及び搬出)

単位:デシベル

予測地点	項目	現況振動レベル	増加分	将来振動レベル	要請限度
		①	③	②	
地点 a 久地野ポンプ場	平日	50 (49.7)	1.6	51 (51.3)	65
	土曜	48 (47.5)	2.0	50 (49.5)	
地点 b 鴨田川排水機場	平日	50 (50.0)	1.0	51 (51.0)	70
	土曜	47 (47.3)	1.6	49 (48.9)	
地点 c 憩の家ふたば荘	平日	45 (45.0)	1.0	46 (46.0)	
	土曜	44 (43.6)	1.2	45 (44.8)	

注1) 影響が最大となる時間の値である。

地点 a : 平日15時台、土曜11時台

地点 b : 平日14時台、土曜11時台

地点 c : 平日9時台、土曜9時台

注2) 要請限度との比較は整数で行うが、本事業による増加分が分かるよう () 内に、小数点以下第一位まで表示した。

表-1 スポットセンサス、ポイントセンサス毎の調査結果（確認個体数）

種名	スポットセンサス			ポイントセンサス		合計 (個体)
	ライン1	ライン2	ライン3	ポイント1	ポイント2	
ドバト	29	60	79	82	25	275
スズメ	41	84	89	31	13	258
カワラヒワ	15	2	6	11	11	45
キジバト	4	14	12	6	2	38
ハクセキレイ	18	2	8	7	1	36
ハシボソガラス	17	5	7	3	3	35
ムクドリ	5	8	21	0	1	35
カワウ	22	1	0	4	0	27
コガモ	26	0	0	0	0	26
ヒドリガモ	26	0	0	0	0	26
ヒヨドリ	9	3	6	0	2	20
カルガモ	15	0	1	0	0	16
ダイサギ	0	5	7	1	1	14
マガモ	13	0	0	0	0	13
ツバメ	0	0	7	0	0	7
アオサギ	4	1	0	0	0	5
ゴイサギ	0	0	3	1	0	4
セグロカモメ	1	1	0	0	2	4
セグロセキレイ	0	2	1	1	0	4
ハシブトガラス	1	0	1	2	0	4
モズ	1	0	1	0	2	4
キセキレイ	2	0	0	0	0	2
ケリ	0	0	2	0	0	2
マルガモ	2	0	0	0	0	2
ツグミ	0	0	0	1	0	1
合計（個体）	251	188	251	150	63	903

注) スポットセンサス及びポイントセンサスのライン（踏査ルート）、ポイントの位置は準備書 592 ページの図 7.9-2 鳥類の調査地点 参照。

表-2 スポットセンサス、ポイントセンサス毎の調査結果（環境区分毎の生息密度 個体数/ha）

環境区分 種名	植栽帯 (中高木)	植栽帯 (低木)	高茎 草地	低茎 草地	果樹園	畑地雑 草群落	水田 雑草 群落	開放水面 (河川・水路)	ヨシ 群落	裸地・グ ラウンド	道路	駐車場・ 護岸・人 工構造物	宅地・低 層建家	工場・高 層住宅・ 高層建家	合計 (個体数/ha)
ヒヨドリ	28.1	60.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.3	1.5	92.7
カワラヒワ	56.2	0	0	1.0	0	0	0	0	0	3.2	1.0	1.4	5.8	0	68.6
キジバト	0	0	0	2.0	0	13.8	0.7	0	0	2.1	0.5	12.7	5.8	0.6	38.2
ツグミ	0	30.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30.4
ムクドリ	0	0	4.3	5.1	0	0	0.7	0	0	0	0	5.6	6.9	1.8	24.5
モズ	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	1.1	0	0.7	1.2	0	3.6
ツバメ	0	0	0	0	0	0	1.4	0	0	0	0	0	0	0	1.4
スズメ	84.3	121.5	0	26.4	0	20.7	2.1	0	43.8	3.2	2.0	25.4	101.4	11.0	441.9
ドバト	0	0	13.0	22.4	0	13.8	0	0	0	0	0.5	1.4	3.5	3.1	57.6
ハシボソガラス	0	0	0	4.1	0	0	0	0	0	0	0	7.8	3.5	0.3	15.6
ハシブトガラス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.6	0.6
コガモ	0	0	0	0	0	0	0	3.6	120.5	0	0	0	0	0	124.1
ヒドリガモ	0	0	0	0	0	0	0	3.6	115.1	0	0	0	0	0	118.7
ハクセキレイ	0	0	0	2.0	0	6.9	2.1	0	16.4	3.2	1.0	4.9	2.3	0.6	39.5
マガモ	0	0	0	0	0	0	0	8.1	21.9	0	0	0	0	0	30.0
カルガモ	0	0	0	0	0	0	0	11.6	11.0	0	0	0	0	0	22.6
カワウ	0	0	0	0	0	0	0	2.7	0	0	0	9.9	0	0	12.6
アオサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	5.5	0	0	0	0	0	5.5
セグロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.4	1.2	0	2.6
ダイサギ	0	0	0	0	0	0	2.1	0	0	0	0	0	0	0	2.1
マルガモ	0	0	0	0	0	0	0	1.8	0	0	0	0	0	0	1.8
キセキレイ	0	0	0	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	1.7
ケリ	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0.7
セグロセキレイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴイサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(個体数/ha)	168.7	212.7	17.3	64.0	0	55.2	10.7	31.4	334.2	12.7	4.9	71.9	133.6	19.6	1137.0

注1) 環境区分は準備書 625 ページの図 7.10-2 植生図 の区分と同一。

注2) セグロセキレイとゴイサギは特定の環境の利用は確認されず、上空の通過のみが確認された。

注3) 表の数値は小数点第2位で四捨五入しているため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。

表－3 各環境区分の割合

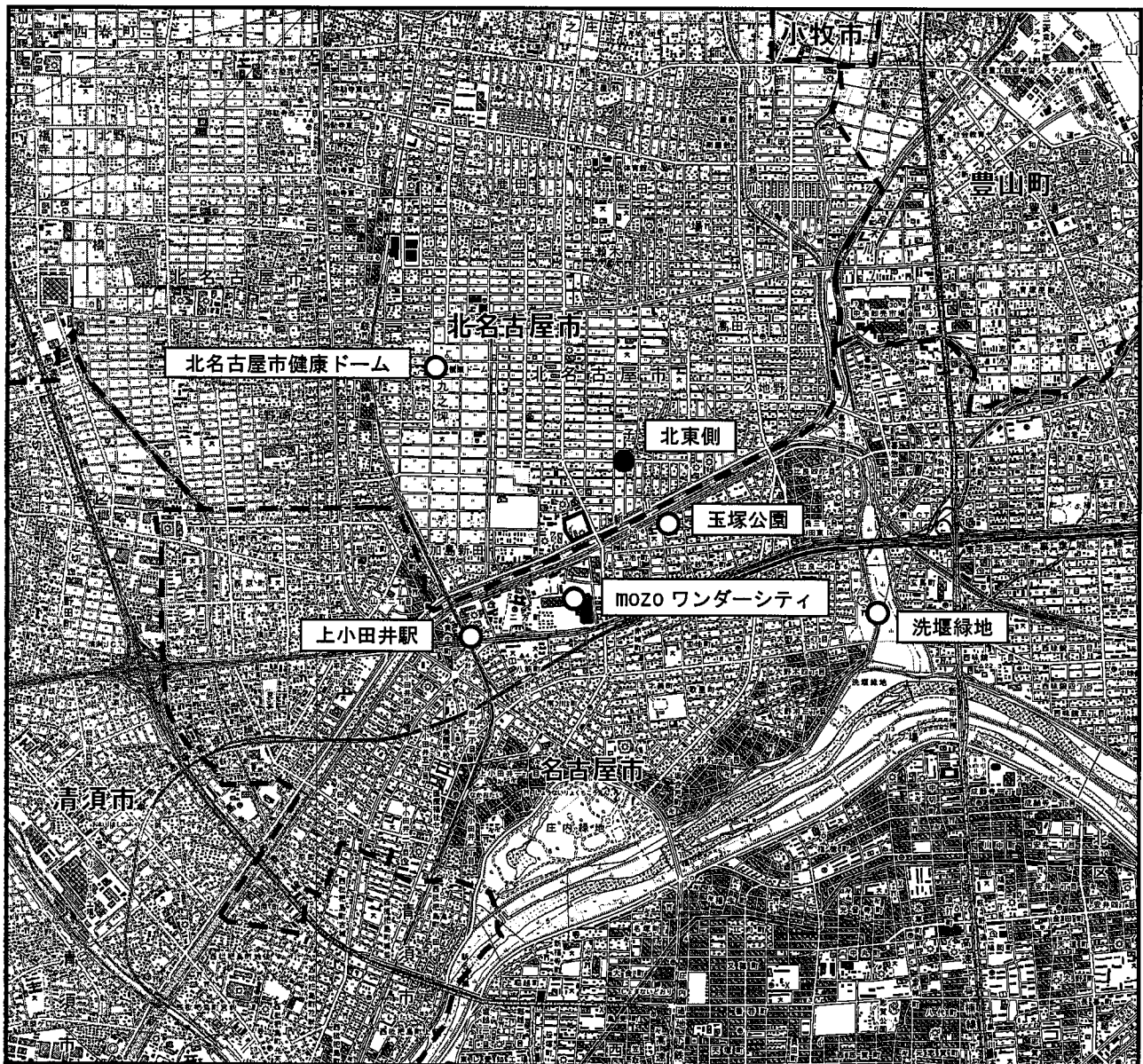
環境区分	事業実施区域		調査範囲	
	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)
1. 植栽帯（中高木）	0.04	1.67	0.42	1.33
2. 植栽帯（低木）	0.02	0.89	0.11	0.35
3. 開放水面（河川・水路）	－	－	2.35	7.46
4. 工場・高層住宅・高層建家	0.90	34.55	12.04	38.22
5a. 宅地・低層建家	－	－	2.06	6.55
5b. 駐車場・護岸・人工構造物	0.45	17.30	2.20	6.97
6. 道路	－	－	4.34	13.78
7. 水田雑草群落	－	－	2.77	8.80
8. 畑地雑草群落	－	－	0.31	0.98
9. 果樹園	－	－	0.11	0.34
10. 低茎草地	－	－	1.70	5.40
11. 高茎草地	0.03	0.97	1.44	4.56
12. 裸地・グラウンド	1.16	44.61	1.19	3.77
13. ヨシ群落	－	－	0.46	1.47
合計	2.60	100.00	31.50	100.00
事業実施区域/調査範囲				8.25%

注1) 表中の番号は準備書 625 ページの図 7.10-2 植生図 の凡例の番号に該当する。





注2) 調査範囲は事業実施区域及び周囲 200m の範囲。

注3) 割合(%)は事業実施区域と調査範囲の各範囲における合計面積をそれぞれ 100%とした場合のもの。

北東側からの景観について



凡 例

-  事業実施区域
-  行政区域界
-  景観予測地点
-  北東側予測地点

この地図は、国土地理院発行の 1 : 25,000 地形図「名古屋北部」「小牧」「清洲」「一宮」を使用したものである。

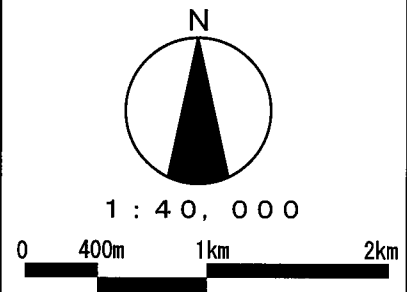


図 1 景観の予測地点

現 況



将 来

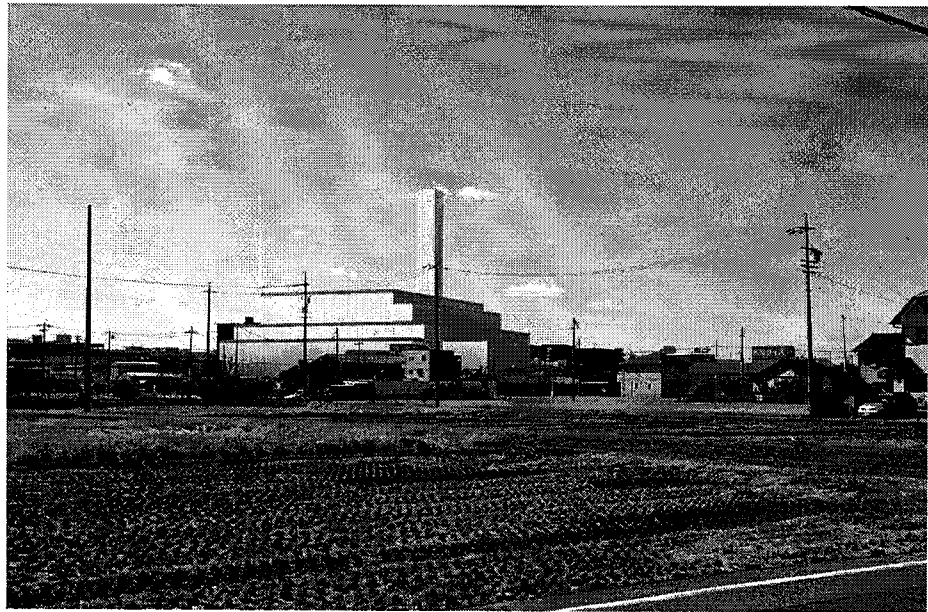


図2 北東側からの景観の変化の状況